

# 1 大会参加上の注意について

1. 転校後6ヶ月間は、当部が主催する大会には参加できない。ただし、特別な事情があり、高体連会長の許可があれば参加できる。
2. 申し込みは、各大会用申込書に、加盟費・登録料および参加費すべて銀行振込みをして、振込み明細書のコピーを添付のうえ、前回の大会の試合会場本部席に試合当日の9:00~15:00（**最終日は12:00まで**）の間に申込むこと。

振込先 : りそな銀行 練馬支店 普通口座番号 3950691

東京都高等学校体育連盟 女子卓球部

前回の大会の試合会場に来られない場合は、申込書に参加費振込み明細書コピーを同封うえ、郵送で締め切りの期日までに、専門部事務局まで申込むこと。

3. 申込書には、学校番号・学校名（略称）と校内ランク順に姓だけ（同姓がいる場合は名前まで）と学年・参加区分のクラス（A・B・C）を必ず記入すること。  
なお、申込書の下方にある領収書にも学校名・参加者数・合計金額・日付など記入すること。
4. 参加費は、チーム3,000円、ダブルス1組900円、シングルス1名600円とする。  
（※今年度より、シングルスに参加費を値下げしました。）  
ただし、東京都卓球連盟主催の大会はAクラスのみ1名1,000円とする。
5. 試合会場は、ホームページでアップされた組合せ表を見て確認すること。

# 2 大会運営について

1. 試合会場校には、試合開始予定時刻より1時間前には行かないように、また遅れないようにすること。
2. 荷物を含め、**貴重品などの管理は各自の責任において行う。主催者は紛失・盗難などの責を負わない。**
3. **ゴミは各自で完全に持ち帰ること。**
4. 試合開始後、各校1名は必ず会場内にとどまり、放送が聞こえるようにすること。
5. 指定された時間までに遅れた選手は、失格とする。
6. 棄権者があらかじめ分かっている場合には、**当日受付時または試合開始時刻までにできるだけ高体連専用連絡先へ連絡すること。**
7. **試合には日本卓球協会指定の当該年度ゼッケンを付けること。**
8. 試合終了後、勝者はただちに本部席へ勝者報告をすること。敗者は試合球を確保してその場に残り次の試合の審判を行うこと。
9. 次の試合に呼ばれた選手は、そのコート近くで待機し、前の試合が終了したらただちにコートへ入ること。
10. 前の試合終了後ただちにコートに入ることなく、その後3回呼び出しをしてもコートに入らない場合は失格とすることがある。
11. 試合前の練習は、チェンジコートなしの1分間とする。
12. セット間のアドバイスは、1名のみ1分以内とする。
13. 台風などによる大会開催問い合わせやその他連絡については、ホームページまたは  
高体連専用メール「tky-koutairen-jts@docomo.ne.jp」  
または 高体連専用電話「070-3986-0839」に問い合わせること。  
緊急時以外は出来るだけメールを利用すること。その際にはタイトルに学校名・氏名を必ず記入のこと。  
なお連絡先は平成29年8月より上記に変更となっている。

### 3 追加加盟の方法について

新1年生や新入部員の追加加盟は、判明した時点で所定の手続きをすること。その都度公印を押した高体連加盟申請書を提出する。新規選手名はすでに加盟登録した選手に続いて記載すること。

(平成30年度より、高体連加盟登録の手続きが変更になっているので、「平成30年度 東京都高等学校体育連盟加盟・日本卓球協会登録手続きについて」を参照し、手続きを行うこと。)

### 4 ルールについて

各試合とも、審判員は選手の皆さんにお願いしている。従って、審判員となった場合には、試合をスムーズに進行させる心構えを持ち、試合の遅延を防ぐよう協力すること。

コールは、両選手が同時によく聞こえるタイミングをみはからって、サーバーの方から得点をはっきりコールする。ルールは、現行の日本卓球ルールおよび同細則を適用する。ただしタイムアウト制については、全種目Aクラスのトーナメント準決勝から適用する。決勝リーグにおいては全種目初戦から適用する。

#### A. 一般事項（日本卓球ルールブック 2011 平成23年度版より抜粋）

##### 【1】ラケット

- ① 打球するラケットの両面は、公認されたラバーで異色の状態になっていること。
- ② ペンホルダーラケットの打球しない面は、打面と異なる色でなくてはならない。(白木地ではいけない。)
- ③ ラバーは、ラケットの大きさよりも大きかったり、小さかったりしてはいけない。
- ④ ラケットは、破損しないかぎり1試合1本とする。
- ⑤ 試合前に主審および相手方から要求があった場合は、ラケットの両面を見せなければならない。

##### 【2】ボール

- ① 試合球は、プラスチック製40ミリの白球とする。

##### 【3】サービス

- ① 手のひらを開き平らにし、その上につかむことなく自由に転がる状態でボールをのせ、静止させる。
- ② ボールに回転を与えることなく、ボールがフリーハンドの手のひらから離れた後、打球される前になにもものにも触れずに落下するように、16cm以上ボールをほぼ垂直に投げ上げなければならない。
- ③ ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェイスよりも高い位置で、かつサーバー側のエンドラインの後方にならなければならない。またその間、サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用している物でボールをレシーバーから隠してはならない。ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーアームとフリーハンドを、ボールとネットとの間の空間の外に出さなければならない。

**④競技者の行うサービスが基本ルールの要件を満たしているかどうかを、主審または副審が確信できるようにサービスを行うことは、競技者の責任である。**

##### 【4】1ゲーム11本ポイント制

- ① 11ポイント先取した競技者または組を勝ちとする。
- ② サービスは、2ポイント毎交代。10-10になった場合は、その後2ポイント差とした競技者または組が勝ちとなる。
- ③ 10-10となった場合は、以後のサービスは1ポイント毎交代となる。
- ④ タオル使用は、6ポイント毎および最終ゲームにおいてエンドの交代時に使用可能。
- ⑤ ゲーム間の休憩は、1分以内とする。
- ⑥ 最終ゲームでは、どちらかが5ポイント先取した場合、エンド交代する。ダブルスの場合は、ここでレシーバーも交代する。

【5】1マッチは、奇数ゲームからなる。

5ゲーム制の場合には、3ゲームを先取した競技者または組の勝ちとなる。

【6】促進ルール

ポイントが「**少なくとも18ポイントに達した**」場合を除いて、ゲーム開始後**中断無く11分経過**しても終了しない場合はそのラリーを止め、促進ルールを適用する。また、それ以前であっても双方から要請があった場合には、促進ルールを適用できる。(H23. 4. 1より変更)

## B. その他

【1】事故(負傷など)によってプレーの続行が不能となった競技者に対し、可能な限り短い時間の試合停止を、本部で認めることがある。

服装は、JTTA公認のユニフォーム着用を原則とする。

【2】団体戦の時ベンチに入れるのは、**監督またはアドバイザー1名**に限る。

【3】個人戦でも試合開始後セット間のアドバイスは、**1分以内で1名**に限る。

【4】リーグ戦の勝敗について

①同一グループで最多勝校、個人または組が第1位となり、順次勝率の良い順とする。

②同一グループ内で2校、2名または2組以上の勝敗数が同じ場合は、その相互間の対戦成績により決定する。

ただし**団体戦において**、それが同率の場合は、個人の勝敗数の計算による勝率で決定する。それがまた同率の場合は、個人のゲーム数の勝率で決定する。更にそれがまた同率の場合は、個人のポイント数の勝率で決定する。なお、勝率計算によって2校、2名または2組だけが同率になった場合は、その2者間の勝者が上位となる。

## C. 試合方法について

\*Cクラスの一部を除いて、試合は全て5ゲーム制で行う。

平成29年度からボールは全種目プラスチック製公認球を使用する。

【1】チームの部

\*A・Bの2クラスに分けてトーナメント方式で試合を行う。

ただし、Aクラスは決勝リーグおよび5～8位リーグを行う場合がある。

A・Bクラスでそれぞれベスト4の入賞校(1～3位)に、表彰状を与える。

参加区分	Aクラス	① 前大会Aクラスでベスト8以上の学校 ② 前大会Bクラスでベスト4以上の学校 ③ その他Aクラスに出場希望校
	Bクラス	① 前大会Aクラスでベスト8以上に入らなかった学校 ② 前大会Bクラスでベスト4以上に入らなかった学校 ③ その他Bクラスに出場希望校

\*チーム戦のメンバーは4～7名で編成。オーダーは1番・2番にシングルス、3番にダブルス、4番・5番にシングルスをおき3点先取勝ちとする。ただし、3番のダブルスは1・2番のシングルスに出場した選手同士で組むことはできない。**またシングルスを重ねて出場することはできない。もしオーダー交換後に誤りが発覚した場合は、当該事由の試合を負けとする(記録上はポイント0-11、セットカウント0-3)。**

## 【2】ダブルスの部

A・Bの2クラスに分けてトーナメント方式で試合を行う。

A・Bクラスでそれぞれベスト4の入賞組（1～3位）に表彰状を与える。

参加区分	Aクラス	① 前大会Aクラスでベスト16以上の組 (ただし、ペアが変わってもAクラスに申し込むこと。) ② 前大会Bクラスでベスト4以上の組 (ただし、ペアが変わってもAクラスに申し込むこと。) ③ その他Aクラスに出場を希望する組
	Bクラス	① 前大会Aクラスでベスト16以上に入らなかった組 ② 前大会Bクラスでベスト4以上に入らなかった組 ③ その他Bクラスに出場を希望する組

## 【3】シングルの部

- ① 春季大会（関東大会予選）・都総体（全国大会予選）・秋季大会（全日本ジュニア予選）・新人大会は、A・B・Cの3クラスに分けてトーナメント方式で試合を行う。ただし、Cクラスはトーナメントを4ブロックに分け、**各ブロックベスト3 2決定戦までは3ゲーム制（2ゲーム先取）で行い、ベスト16決定戦からは5ゲーム制（3ゲーム先取）で行う。**

Aクラスにおいて、春季大会は、ベスト16の8名による敗者復活トーナメント戦、都総体は、ベスト8による決勝リーグで代表および順位を決定する。

A・Bクラスでそれぞれベスト4の入賞者（1～3位）に表彰状を与える。また、Bクラスベスト8及びCクラスブロックベスト4に対しそれぞれ上級者・中級者の認定証を与える。

参加区分	Aクラス	① <b>過去の大会</b> Aクラスでベスト16以上の者 ② <b>過去の大会</b> Bクラスでベスト8以上の者 ③ その他Aクラスに出場希望者
	Bクラス	① Aクラス資格①②に該当しない者 ② <b>過去の大会</b> Cクラスでブロックベスト4以上の者（Aクラスへは出場可能） ③ その他Bクラスに出場希望者
	Cクラス	① <b>過去の大会</b> Cクラスでブロックベスト4以上に入らなかった者 ③ A・Bクラス参加資格に該当しない希望者

- ② 夏季大会(国体予選)は、A・B・Cのクラスに分けず、**スーパーシード制をとる。**

## D. シードについて

【1】シードは、原則として前回の大会の資料を参考にする。シード以外は、抽選とする。

- ① 春季大会（関東大会予選）は、前年度の新人大会および全日本ジュニア予選会の資料を参考にする。
- ② 都総体（全国大会予選）は、春季大会の資料を参考にする。
- ③ 夏季大会（国体予選）は、都総体および前年度全日本ジュニア予選会の資料を参考にする。
- ④ 秋季大会（全日本ジュニア予選）は、前年度秋季大会の資料を参考にする。
- ⑤ 新人大会は、都総体の資料を参考にする。
- ⑥ 冬季（地区別）大会は、新人大会の資料を参考にする。

【2】原則としてシードは、チームをベスト8まで、ダブルスをベスト8まで、シングルスでベスト16までを

対象とする。

- 【3】同一校の選手が対戦する場合は、シード順を変更することがある。
- 【4】シードを組む場合は、前回の大会で対戦した選手・学校とは、連続して対戦しないように考慮するが、シード選手シード校に勝てば、また同じ選手・学校と対戦することがある。  
各種目のBクラスやCクラスのシードについては、可能な範囲でシードする。

## 5 新型インフルエンザに関わる大会出場等について

新型インフルエンザに関わる大会出場等について、平成21年9月28日に全国高等学校体育連盟より出された通知（21全国高体連第174号）に従い、以下のように対応する。

- 1 東京都教育委員会から本件に関わる「通知」が出された場合、これに従う。
- 2 休校、学年・クラスの閉鎖が行われている状況の中で選手を派遣し、大会に参加する場合は出場する選手本人が感染していないことを前提に、校内の状況、濃厚接触者の存在、今後予想される感染状況を踏まえ、校医、保健所、教育委員会等と相談の上、校長の最終的判断に従う。
- 3 上記2の様な状況の中で大会に出場する場合は、大会主催者（当該競技専門部）と相談し、上記の状況下での出場であることを報告し、出場の許可を得て、大会に出場すること。

## 6 外国人留学生の大会参加について

平成23年度以降の外国人留学生の加盟・大会参加について、全国高体連理事会（平成22年12月3日）において次のような決定がされた。（抜粋）

現に高等学校に在籍していることを確認するため、下記書類の提出を大会参加申請書に添付することを要するものとする。

- 1 外国人登録証書の写し  
全国高校総体都道府県予選（地区・支部予選を含む）の参加申し込み日までに就学していることを、「外国人登録証書の登録日」により確認する。但し、外国人登録証書の発行がなされていない場合には、外国人登録証明書交付予定期間指定書により確認する。
- 2 都道府県高体連専門部長は、上記1の他、必要に応じ当該校に対してその他の書類の提出を求めることができる。

※ 大会参加申請（外国人留学生登録(更新)申請を含む）には、別紙様式1・2を使用する。

- 1 外国人留学生**登録**及び大会参加申請時における提出書類
  - ① 外国人留学生選手の登録および大会参加申請書（様式1）
  - ② 入学許可証 写（受け入れ高等学校のもの）
  - ③ 在留資格認定証明書 写
  - ④ パスポート 写
  - ⑤ 就学ビザ 写
  - ⑥ 外国人登録証書（もしくは外国人登録証明書交付予定期間指定書） 写
- 2 外国人留学生**登録更新**及び大会参加申請時における提出書類

- ① 外国人留学生選手の登録更新および大会参加申請書（様式1）
  - ② 学年修了証または単位修得証明書 写
  - ③ 在留資格認定証明書 写
  - ④ パスポート 写
  - ⑤ 就学ビザ 写
  - ⑥ 外国人登録証書 写
- 3 外国人留学生途中帰国の場合
- ① 途中帰国の理由書（当該高等学校長名の書類）
- 4 登録・更新および大会参加申請等の事務手続きについて
- ① 当該校は、必要書類を添えて、都道府県高体連専門部長に提出する。（様式1）
  - ② 都道府県高体連専門部長は、書類を精査後、都道府県高体連事務局に提出する。（様式2）
  - ③ 都道府県高体連事務局は、各専門部からの申請を集約し、(財)全国高体連の調査様式にて、(財)全国高体連事務局に提出する。

該当の部員がいる場合は、関係必要書類を東京都高体連のホームページよりダウンロードし、提出のこと。